

文教福祉委員会会議録

- 1 日 時 令和5年10月23日（月曜日）
開会 午前 9時57分
閉会 午前10時43分
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 出席又は欠席した委員の氏名
(出席) 委員長 溝手 宣 良 副委員長 山 名 正 晃
 委 員 小 野 耕 作 委 員 仁 熊 進
 " 萱 野 哲 也 " 村 木 理 英
 " 頓 宮 美津子
(欠席) なし
(その他出席者) 副議長 高 谷 幸 男
- 4 職務のため出席した議会事務局職員の職氏名
議会事務局長 西 村 佳 子 同次長 宇 野 裕
同議事係主査 岩 佐 知 美
- 5 説明のため出席した者の職氏名
総合政策部長 梅 田 政 徳 政策調整課長 岡 本 紀 子
財政課長 横 田 優 子 財政課主幹 岡 真 里
教育長 久 山 延 司 教育部長 加 治 佐 一 晃
教育総務課長 藤 原 直 樹 部活動地域移行推進室長 平 田 壮 太 郎
学校教育課長 在 間 恭 子 こども夢づくり課長 浅 野 竜 治
- 6 報告事項その結果
報告事項
(1) 幼稚園の預かり保育について
- 7 議事経過の概要
別紙のとおり
- 8 その他必要な事項
別紙のとおり

開会 午前9時57分

○委員長（溝手宣良君） ただいまから文教福祉委員会を開会いたします。

本日の出席は7名全員であります。

これより、所管事務調査を行います。

それでは、報告事項の1、幼稚園の預かり保育について当局の報告を願います。

こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） それでは、報告事項1、幼稚園の預かり保育について御説明申し上げます。

1枚お開きいただきまして、資料1を御覧ください。

まず、目的でございますけれども、多様化する子育て世帯のニーズ対応、また待機児童解消の観点から、現在預かり保育を実施している幼稚園において早朝の預かり保育を実施しようとするものでございます。核家族化、共働き世帯の増加によりまして、通常の幼稚園の保育時間では幼稚園に通わせることができないといった理由から保育所を希望される世帯も増えていると思います。それが待機児童が生じる要因の一つになっていると考えているところでございます。中には、給食の開始により今まで以上に地域の幼稚園での教育に魅力を感じながらも、保育時間の条件が合わず諦めている世帯もいらっしゃるというふう聞いております。

幼稚園の預かり保育につきましては、平成22年度から総社北幼稚園、山手幼稚園の2園で開始いたしました。令和2年度から三須幼稚園で開始となりまして、現在9園での実施となっております。2の令和6年度から早朝にも預かり保育を実施する園の箇所の実施中の4園と実施する5園、合わせてこの9園が現状実施ということでございます。

2で記載しておりますとおり、そのうち早朝預かり保育を実施していない5園について、令和6年度から実施しようとするものでございます。このほかの園でございますが、人口減少地域でございます秦幼稚園、また現在休園中の神在幼稚園についても同様に早朝の預かり保育を含めた預かり保育の実施を検討しているところでございます。

次に、3、令和6年度から定員拡充する園として表に記載しておりますが、預かり保育の利用区分といたしましては、通年利用と、それから一時利用とございます。通年利用と申しますのは、就労を主とする保育を必要とする場合の方になります。一時利用については、例えば参観日であったりとか子どもを遊ばせたいとか、ちょっと子育てのリフレッシュしたいとか、そういった理由で御利用になる一時利用というものがございます。

現在、表中でございますが、常盤幼稚園でございますが、一時利用として15名の定員枠を設けておりますが、この枠にプラス15名して一時利用を30名とし、通年利用定員55名と合わせて85名に、また新たに総社幼稚園に15名、山手幼稚園に10名の一時利用枠を設け、総社幼稚園は合計60名、山手幼稚園は合計で55名の定員に拡充しようとするものでございます。また、三須幼稚園、服部幼稚園、久代幼稚園については、この枠を合わせて10名または15名を定員増といたしまして、三須幼稚

園は定員30名に、服部幼稚園及び久代幼稚園については定員45名に拡充しようとするものでございます。

待機児童の解消はもとより、多様化する保護者ニーズに対応した幼稚園の受皿整備ということで進めていきたいと考えております。

また、このほかでございますが、人口減少地域の学校・園につきましては、令和6年度から小学校において小規模特認校制度の導入を検討しておりまして、併せて幼稚園においても区域外就園の弾力化というのを検討しておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。ございませんか。

萱野委員。

○委員（萱野哲也君） 11月号の広報にもちゃんと載っていて、ありがとうございます。やることに関しては当局の中でいろいろお話しされてやったんでしょうけど、この所管事務調査も別に議会運営委員会が開かれるわけでもないんでお尋ねしますが、何で今日、今回これだけ、これだけというのは内容がです、1個だけの所管事務調査になったのかをお尋ねします。

もちろんそれは委員長から招集の通知があつて委員長とお話しされたんでしょうけど、広報に載っちゃってますね。載ってることがどうこうとは言いませんし、過去、令和元年度の議事録も当時の小野課長も、急遽の開催、本当に申し訳ございませんって、同じ時期、こういった内容が出たんですよ。今回のこの委員会の開催に当たって、なぜこうなったのかをお尋ねいたします。

○委員長（溝手宣良君） 教育長。

○教育長（久山延司君） 萱野委員の御質問にお答えします。

こういう時期になって急に一つだけということで、大変申し訳なく思っております。もともとは、先ほど課長のほうから少しありましたが、この預かり保育の拡充と、それから小規模特認校制度とが実際にはセットといいますか、特に秦小学校、秦幼稚園、それから神在小学校、神在幼稚園、この2校2園については特に小規模特認校制度とセットにしないと、地域の子どもだけでは休園が解消しないと、神在の場合、可能性が高いということで、小規模特認校制度というのは学区を越えて、教育委員会が一定の一つの学校または園を指定する、その指定した学校や園については学区を越えて市内からだったらどこからでも行けるという制度でございます。それと併せて、この預かり保育の拡充を検討していったわけでございます。そういう中で、今回この一つだけしかできないというのは、11月8日の所管事務調査のほうでこの小規模特認校制度については詳しくお話しするといいますか、そこで併せてというつもりではございましたが、広報のほうで出るということで、この預かり保育だけでも先に聞いていただきたいということで早く設定をお願いしたわけですが、広報の日程と合わなかったということで、このようになってしまいました。

大変申し訳なく思っておりますが、こういう小規模特認校制度について説明しないと、この預か

り保育についてなかなかこちらの思いが伝わらないというようなこともありまして、ちょっとちぐはぐしたのが今回のことでございます。大変申し訳なく思っておりますが、この預かり保育について御検討、御協議いただけたらと思います。

以上です。

○委員長（溝手宣良君） 萱野委員。

○委員（萱野哲也君） 理由は分かりました。ですけど、今教育長が言われるように、小規模特認校のことがここで今日議題にはならないのであれば、ちょっと何を聞いていいのか分かんないんですけど。じゃあ結局何を審査するんですかってなってこないかなと思うんですけど、というのが私の思いなんですけど。じゃあ何を、言ってみれば、広報に載ってることを御説明したかった、だけでということよろしいんですか。

○委員長（溝手宣良君） 教育長。

○教育長（久山延司君） 萱野委員の再度の御質問にお答えします。

広報には、神在幼稚園、秦幼稚園、具体名は載っていないと思いますが、今回この所管事務調査のほうで具体名を上げさせていただいて、これが御存じのように神在幼稚園は今ゼロです。そういう中でこの預かり保育をするということは、そこには教員も配置するといいますか、年度末人事でそういう準備をしておかないといけない、施設もですし、それから人的なことも準備していく、そういうことで、今回は広報よりは具体を上げさせていただいて、その上で協議していただきたいということで開かせていただきたいということです。

以上です。

○委員長（溝手宣良君） 萱野委員。

○委員（萱野哲也君） 委員長になったばかりで申し訳ないんですけど、委員長に議事の整理をしていただきたいんですけど、今回の幼稚園の預かり保育についてなんですけど、ここに記載のとおり今秦幼稚園、神在幼稚園についても実施とここには書いてますけど、これについては小規模特認校ということで、次の委員会で御報告があるというふうにお話を整理すれば、ここについては今日は議事進行上、ここは聞けないんでしょうか、聞いてもいいんでしょうか。ここはどのように委員会審査をしていけばよろしいんでしょうか。

○委員長（溝手宣良君） 小規模特認校についてはあくまで次回、今回は早朝預かり保育をこのたび実施する5園についてということになります。

○委員（萱野哲也君）（続） では、ほんなら今教育長が言われるように秦幼稚園、神在幼稚園についてもここに書かせていただいたということを言われて、ここについても小規模特認校というのはセットなんですけど。

○委員長（溝手宣良君） しばらく休憩します。

休憩 午前10時10分

再開 午前10時17分

○委員長（溝手宣良君） それでは、休憩を閉じて会議を開きます。

質疑はございませんか。

頓宮委員。

○委員（頓宮美津子君） すみません。この預かり保育、定員拡充する園ということに関してなんですけれども、最後の山手幼稚園は45名、線引っ張って、バーがないので、一時利用ってなってるんですけど、通年利用定員が45名のままで、一時利用が10名という解釈でいいんですよね、ここに線入ってないんですけど、細かいことなんですけど。

三須幼稚園なんですけど、通年利用が20名で、一時利用ではなく定員を10名増やす。現在もう既に30名以上いると思うんですけど、この間運動会で、今3歳児が19名、4歳児が5名、5歳児が十何名だから、たしか30名を超えてた気がしたんですけど、これで間に合うんですか。それと、何か次の3歳児がとても多いのでということをお園長が何かおっしゃったような気がしたので、これで間に合うのかなということ、取りあえずその2点お願いします。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 頓宮委員の御質問にお答えいたします。

一時利用のプラス15名と山手幼稚園の10名の質問については、この後、真ん中にラインが入って利用区分が分かれるということでございます。

三須幼稚園につきましては、現状定員20名に対して10名予定ということで計30名ということでございます。三須幼稚園の園児数自体は、10月1日現在でいいますと確かに38名いらっしゃいます。その中で、預かり保育を利用される方というのは基本的に就労をされてる方が主に使われるので、新2号認定というものを受けます。保育所に入るときと同じように、就労しているため保育所に入ります、預かり保育を利用させていただきということになりまして、三須幼稚園につきましては、新2号の認定数が現状23名いらっしゃいます。9月の利用実績で申しますと、そのうち21名の方が使われてるということで、協議した上で10名の増員があれば来年度も多分できるということで10名の増員とさせていただいてるところでございます。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） 頓宮委員。

○委員（頓宮美津子君） もう一つ、山手保育園が認定こども園になるじゃないですか。そのときに山手認定こども園のうちの幼稚園部が15名で、それでも山手幼稚園は足りない。それでもう十分にいく予定なんですか。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 頓宮委員の御質問にお答えします。

現在、山手保育園のほうが出来年4月に向けての準備をされている山手認定こども園については、一応定員なんですけども、120名定員で、うち保育部が105名、幼稚部が15名の計合わせて120名でございます。山手保育園が今度認定こども園ということで、市民の方にも紛らわしいというか、う

ちの方でいろいろあるんですが、基本的には山手幼稚園として利用していただく中で、割と山手幼稚園についても就労されてる方が多くて、通年利用で登録されてる方は現在55名使われてるんですけど、9月実績で、ただ毎日じゃない方が結構いらっちゃって、パートの方とかも結構いらっちゃって、通年枠をずっと押さえられるよりは一時利用枠で幾らかシフトしていただいたほうが保護者の方も使いやすいし、園のほうも調整しやすいというようなことで、一時利用枠を設けたほうがいいという話になりまして、10名の新規に一時利用を開始したいと考えております。園のほうとの協議でも、この程度であれば来年度も対応できるだろうということでございます。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） 頓宮委員。

○委員（頓宮美津子君） ありがとうございます。そうすると、かなり子どもの数が増えるんですが、これはそもそもこの通年利用がはるかに増える園もありますけど、職員の不足というか、その辺はどうなってる、全然補充しなくて大丈夫なんでしょうか。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 頓宮委員の御質問にお答えします。

現状というか、職員のほう今でも頑張っていたいただいているんですが、この定員を拡充するとなれば人も確保していかないといけないと考えています。預かり保育指導員ですとか、預かり保育の補助員といった方をそれぞれ人数確保をして、園のほうに人員としてつけていきたいとは考えております。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） 頓宮委員。

○委員（頓宮美津子君） 今の段階のおよその募集人員というのは想定しているんですか。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 早朝と、それから拡充する園がございますけど、それぞれ園に1名の増員は必要だろうと今考えております。指導員の場合であれば1日フルタイムで、これは有資格者になりますけども、ということになるか、それから補助員の場合については資格がない方でも一応できるんですが、それをシフトを一応いろいろ組合せをした上で、園児数にもよりますけども、それによって配置は必要になると考えています。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） 村木委員。

○委員（村木理英君） 先ほどの支援員の話なんですけども、これはきちんと予算措置をされてるかどうか、これはいかがですか。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 村木委員の御質問にお答えします。

補助員等の人件費につきましては、令和6年度の当初予算のほうで要求していきたいと考えてお

ります。ですが、現状はできておりません。

○委員長（溝手宣良君） 村木委員。

○委員（村木理英君） 現状できてない状態で、どうやって支援員を確保するのかというのが私は非常に気になります。働き方改革が言われている中で、今の現状の職員を延長で働かせるというようになりかねない。ここをどういうふうに思われますか、いかがですか、お答えください。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 村木委員の再度の御質問にお答えします。

長時間労働にならないように、現状の職員を含め、また来年度以降も職員の負担とならないように、必要な人員措置はしていきたいとは考えております。

○委員長（溝手宣良君） 村木委員。

○委員（村木理英君） 私はこれ以上言いませんけども、今総社市の職員は非常に働き過ぎです。また、苛酷な労働が強いられると、このことをきちんと委員会で申し述べたいということを御記憶願いたいと思います。

次に、子ども・子育て会議というのがあると思うんですけども、その中でこの件についてどういう審議がされましたか、お答えください。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 村木委員の再度の御質問にお答えします。

この預かり保育についてですけども、子ども・子育て会議のほうでは待機児童の関係、そういった話を8月に開催したところで説明させていただきました。その中で、この園の具体名は出しておりませんが、待機児童対策の一つとして預かり保育の拡大という話はさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） 村木委員。

○委員（村木理英君） 待機児童が問題になったということで議論されたようです、どうも。冒頭で一番最初に説明があったんですけど、やはり保育園の待機児童が多いからということが最初のうたい文句になってると思います。それなのになぜ、保育園を増設すると、新規で保育園を造っていくという議論には何でならないのか。なぜ預かり保育に頼ってしまう現状があるのか、これが分からない。冒頭の御説明でもあったように、保育園の待機児童の解消というふうに言われている。現場は多分混乱すると思いますけども、なぜそこに議論が行かないのか、答弁できますか。

○委員長（溝手宣良君） 教育長。

○教育長（久山延司君） 村木委員の御質問にお答えします。

これは、保育園の新設ですとか、それから幼稚園を活用した魅力アップということ、いろんなことを議論してきた中で、現在の公立である幼稚園の魅力をもっと広げることができるんじゃないか、そのことによって保育園の待機児童といえますか、要するに預ける場ということですから、必ずしも保育園でなくてもいいはずなんです。幼稚園がそれだけ預けられる時間が確保できればそれ

でいいと。だから、我々としては選択肢の一つとして、保育園の新設も選択肢の一つであるとは思っています。それから、幼稚園の魅力をアップするという、それも選択肢の一つ。そういう議論の中で現在幼稚園を魅力アップして拡充して定員を増やして、結果として子育てをしていく上で市民によりよい環境にしていく、そういうことで選択したということでございます。

以上です。

○委員長（溝手宣良君） 村木委員。

○委員（村木理英君） これは答弁は要りませんが、幼稚園をどんどん保育園化しているように見えるわけです。これはいつそのこと幼稚園を保育園にしてしまう、そのほうがよっぽど分かりやすいです。幼稚園のもともとの幼稚園らしさをどんどんどんどんなくしているように見えるんです。どうもそこに私は疑問が残る。そのことを申し上げたい。答弁は要りません。

終わります。

○委員長（溝手宣良君） ほかに質疑はございませんか。

頓宮委員。

○委員（頓宮美津子君） すみません、今村木委員がおっしゃったように、待機児童解消ということもあると思うんですけど、今保育園も保育士がなかなか来ないので、定員に満たないというところもあります。預かり保育の場合は18時ってなっているんですけど、若い保育士経験の方も多と思うんですけど、働く人から考えると、放課後児童クラブに子どもが預けられないので、17時までしか働けませんという保育士さんもいらっしゃるんです。だから、本当は一番忙しいのは17時から18時だったりするので、預かり保育を進めていくのと同時並行で、放課後児童クラブもやっぱり、テーマは違いますが、預かり保育を進める上ではそちらも御認識いただきたいなど。

○委員長（溝手宣良君） 頓宮委員、すみません、あくまで幼稚園の。

○委員（頓宮美津子君）（続） 分かりますよ、だから保育園の預かり保育で働く人も17時18時になるわけですから、同じ条件が出てくるので、今後、お答えは要りませんが、そういう視点もちょっと入れといていただきたいなというふうに思います。

以上です。

○委員長（溝手宣良君） 私より申し上げます。

若干質疑ではない話が二つ続きましたので、質疑をお願いするようにします。

他に質疑はございませんか。

山名副委員長。

○委員（山名正晃君） この報告に関して、頓宮委員と少しかぶるところもあるんですけど、教えてください。

下にある通年利用、総社幼稚園が45人、常盤幼稚園が55人、ここら辺は通年利用の定員は増やさないというふうにはなってるんですけども、ほかのところも含めてなんですが、申込みがこの数を上回ってるということはないんでしょうか。それから、年度途中でこれから入りたいよってなった

場合、その対応が今できているのか、できていない園があるのであれば教えていただきたいんですけども、現状を教えてください。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 山名副委員長の御質問にお答えいたします。

総社幼稚園と常盤幼稚園については定員枠を増やせないということで、一時利用枠を増やすように考えてます。こちらについても事情は先ほどの山手幼稚園と似てるんですが、通年利用で申し込まれても、実際、総社幼稚園や常盤幼稚園の保護者の方、就労されてる方、中にはパートの方も結構いらっしゃるようで、本当に毎週火曜日と木曜日だけの週2日の利用で通年を押さえてしまうというようなこともあり、一時利用枠があれば一時利用枠を総社幼稚園15名、それから常盤幼稚園については15人増員ということなんですけども、その枠があれば一応定員内で調整できるということで、まずこのように一時利用のほうを充実させていったということでございます。

年度途中からも当然就労される状態になりまして、この預かり保育利用はできるんですけども、うまく調整して何とかやりくりはできてるという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） 山名副委員長。

○委員（山名正晃君） 現状お断りしている状況はないという認識でよろしいのかというところと、あと一時利用のことにに関してなんですけども、よくあるのが一時利用をする場合、前の月でこの日とこの日をお願いしますってやっていくのか、もう最初の申込みの段階でこれだけなんですと決まってやっていくのか、例えばパートとかそういうのでしたら月によっては入れるときが変わってきますんで、そういうのをうまく入れ替えていく、現状幼稚園とかでもよくあるんですけど来月の一時利用を使う人はどうぞというのがあるって、取り合いみたいなそういう状況になっているというのがあります。これが一時利用の定員を増やすことで解消ができるのか、そういうシフトのうまい組み方は、先ほど言われたようにシフトを組んでいくんだというのがあるんですけど、そういう保護者に対しての対応がうまいこといくのかということを確認させてください。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 山名副委員長の再度の御質問にお答えします。

総社幼稚園、常盤幼稚園については、お断りしてるというのは今確認できておりませんが、その中で上手に回せてるのは確認しております。

一時利用の方については、1週間前でしたか、一応申込みをいただくようなことにしております。御希望の日ちょうど通年利用されてる方がこの日は使わないのでこの日は大丈夫ですということでマッチングをしたりして、上手にこの中で回してるという状況でございます。園等のヒアリングの中でも、一応この枠があれば全体来年度も調整できるんじゃないかということで、今考えております。もし来年度、これを実施の上、またどうしてもさらに増えるようなことがあれば、そこはまた検討が必要なのかなとは考えています。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） 山名副委員長。

○委員（山名正晃君） 分かりました。ありがとうございます。その一時利用とか通年利用に関してなんですけども、今この受付を開始しますというところにも、一時利用だとか通年利用だとかそういうのはなくて、全体的な預かりができますよということしか書かれてないというのがあるんです。通年利用の方が大体それが決まって、その残りのところで一時利用の方を使うという方法だと、保護者の方がかなりシフトの組み方だったりというのが困る現状があると思うんで、通年利用の方が早くささっと決まったのであれば、一時利用でこれだけ預かれますよという情報を保護者のほうへ共有していただくというような、そういう方法も取っていただかないと、いきなり来週ここへ入れさせてください、来月ここへ入れさせてくださいというふうになると、かなり預けにくくもなりますんで、そのところの調整をできるかどうかというところ、今後やる場合、これはやれますか。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 山名副委員長の再度の御質問にお答えします。

通年利用のほうは現在就労されてる方になりますので、申込み当時多くの方が登録されるんですけども、実際利用日を見ると、何日か空いてたりする、実際就労されない日もありますので、そういった日について調整していくんですが、一時利用の枠というのは基本的には参観日がこの日にあるからとか、また一時的にリフレッシュしたいからというような御利用の方が多いので、当初からこの日を一時利用というのはあまり申込みが現状ありませんので、その都度空いた日を御紹介したりして、結局人員等の配置を見て調整をかけているという状況でございます。ただ、早めにこれは周知は恐らくはしてあげないと、あらかじめ決まった予定とかもあると思いますので、そういったことについては園のほうとも協議して、マッチングというか、ぜひ利用していただけるように考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

○委員長（溝手宣良君） 他に質疑はございませんか。

頓宮委員。

○委員（頓宮美津子君） すみません、この募集をしていく中で、発達障がいの子とか少し支援が必要な子どもさんだという方も応募してくる可能性もありますけど、そういった場合は、保育士の指導員、補助員の中にそういう専門的な知識を持ってる方を、内容によってはしっかり募集するという事でよろしいんですね。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 頓宮委員の御質問にお答えします。

支援の要る子というのも近年増えていってるという状況でございます。園のほうの人員の中でもそういった特別支援の関係の支援員というのは当然考えていかなければいけないと考えております。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） では、他に質疑はございませんか。

山名副委員長。

○委員（山名正晃君） 確認をさせてください。

今、報告が出てこの実施中と実施する園とかあるんですけど、今特区のところは預かり保育をこれからして今のところしていないというところなんですけども、これはニーズはあるんでしょうか、現在通っている人たちの。していない園に対して、通っている人でニーズというのは調査されてあるのでしょうか。

○委員長（溝手宣良君） こども夢づくり課長。

○こども夢づくり課長（浅野竜治君） 山名副委員長の御質問にお答えします。

今回実施する園の中には、特区の園については一応予定はないということなんでございますが、特区を利用されてる方については、例えばまず詳細のニーズ把握はできておりませんが、例えば特区のほうでそういった預かり保育がない場合については、一応預かり保育実施園、例えば川西のほうですと久代幼稚園で現状してますので、例えば特区である新本幼稚園、山田幼稚園にはないのでこちらを利用というのが、利用可能な幼稚園を利用可能な状況になりますので、そういった方がいらっしゃるんだろうと考えております。具体的な数値は今現在つかんでおりません。

以上でございます。

○委員長（溝手宣良君） 他にございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（溝手宣良君） ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

本件については、報告を受けたということにいたします。

以上をもちまして、本日の報告事項は全て終了いたしました。

これをもちまして、本委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時43分